



# 布施村街道

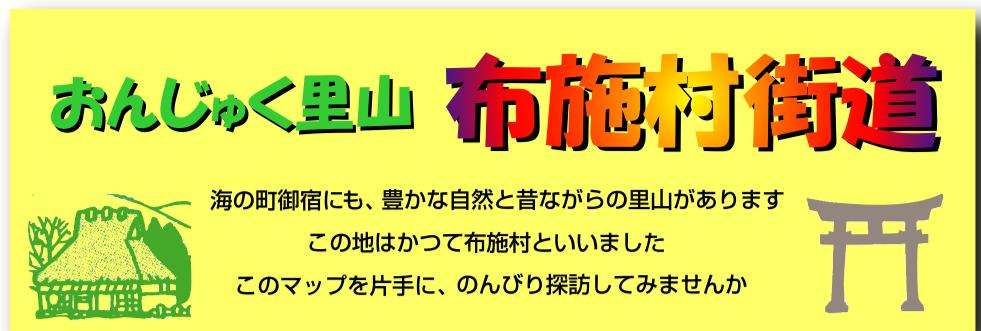
発行:一般社団法人 御宿町観光協会

企画制作:布施村街道準備会

協力:御宿町商工会/NPO法人「おんじゅくDE元気」

発行日:2015年2月





## ① 坂下の泉



元々は井戸として生活にも使われていたこの泉は、後に特に大きな山をしょっているわけではないですが、ほとんど枯れることなく滴れ落ちています。某TV番組の取材の折に水質検査が行われ、名水百選にも選ばれている「熊野の泉」に、勝るとも劣らずとお墨付きを得ています。口当たりが軽く軟らかで自然な甘さの水は、お茶や珈琲の味を引き立たせる事は勿論、近年お水取りのスポットとして広がりつつあります。

無償でお水を頂けますが、泉の上にある祠に感謝の参拝をするのがエチケットかな。

## ② 吉田庭園



一般のお宅なのですが、いつかは皆さんに楽しんでいただこうと、家族で裏山の整備をしています。中心となる四阿(あずまや)に登ると、正面に見える景色に里山のたたずまいを感じます。未だ整備の途中ですが、シャクナゲを始め多くの花木が植え込まれ、四季折々の花曆も楽しめます。申し込んでおけば、四阿でのバーベキューも楽しめるそうです。ふらりとお立ち寄り下さい。

## ③ 川間山「長慶寺」(曹洞宗)



1295年真言宗として開山。本尊は十一面観音だが秘仏となっています。マスコミの世界から仏道に転じた25代現住職は、その広い人脈を通じて定期的に落語名人会を開催したり、音楽会や勉強会を企画して地域の交流の場ともなっています。毎月第四土曜日には坐禅会が開かれ、地域の老若男女が禅にひたむきに取り込んでいますが、その日以外でも希望があれば対応してくれるそうです。

住職の御子息の古川卓・煌さんご夫妻は、新進のアーチストとして活躍しており、そのファミリーを含めて「ONJUKUまるごとミュージアム」のおなじみです。

## ④ 実谷山「圓蔵寺」(天台宗)



左右にサツキのある急坂を上り詰めると、目の前に本堂と境内が広がる。開基は平安中期応和3年(963年)空也上人によるとされ、本尊虚空菩薩は慈覚大師の彫刻と伝えられているが、宝暦2年(1752年)の火災により古記焼失のため詳細は不明。緑に囲まれた境内は一年中小鳥の声が聞こえ、特に花好きの住職が植えた四季折々の山野草の可憐な花々は私たちの心を和ませてくれます。本尊虚空菩薩は「福・徳・智・慧」をさすてくれる仏として、本堂のそばにたつ小さなお堂には優しい顔の如来が座っています。一段高い土手にあがると眼下に実谷の集落が広がり、ここもまさに里山を実感させてくれます。毎月般若心経と和讃の会が開かれており、申し込んでおけば写経もできるそうです。

## ⑤ Farm Resort 鶏卵牧場 「牛舎8号」



二十数年前から、「庭先たまご」のネーミングで都内の高級たまご売り場をリードした鶏卵牧場です。農場内の施設を利用した「牛舎8号」は、イベントや体験、ギャラリーからレトロぶーぶ館、消防自動車博物館と、子どもから大人まで幅広い年齢層に楽しんでいただける観光農園として日々変化・発展しています。訪れるたびに、新しい「わくわく」や「どきどき」があなたをお待ちしています。今度は何があるかな?

## ⑥ カッテンマ (ギャラリー)



閉じられていた古民家をギャラリーとして目覚めさせた、くつろぎといやしの空間です。冬期をのぞく、月はじめ1週間と「まるごとミュージアム」期間だけオープンするギャラリーですが、オーナーのキャリヤーとセンスで選ばれた作家達の、陶磁器やガラス、漆器、染織といった作品を中心に展示販売されます。古民家のゆっくりと流れる時間の中で、日常使いのものからアート作品まで、オーナーの人柄に触れながら楽しめます。不定期ですが個展も開かれますので、電話で確認の上お出かけ下さい。

## ⑦ 大地牧場



牛乳生産の大地牧場は、年々飼育頭数の拡大を続けていましたが、狂牛病が世間を震撼させたのを契機に現社長が、オーガニック飼料だけでの飼育に大転換。牧舎の周りに広がる広大な牧草地で草をはむ、おだやかな目をした牛たちとの出会いは、何所か異郷を思わせます。今では日本トップクラスのオーガニック飼育牧場として視察者が多いのですが、作業の邪魔にならないよう、牧舎の外から見学下さい。

## ⑧ マーサファーム



Tel:090-7823-2234  
http://www.matha-farm.com/

牛の牧場に隣り合わせで、馬を飼育するマーサファームがあります。初心者でも引き馬で乗馬体験が出来ますし、少し慣れてくると、周りの田んぼ道のトレッキングも楽しめます。高知競馬で113連敗「負け組の星」として一躍有名になった「うーちゃん」とハリウララがのんびりと暮らしています。「うーちゃん」は恥ずかしがり屋なのでちょっと気付けてね。

## ⑨ 愚為庵 (農家レストラン)



Tel:0470-68-5927  
http://www.daichi.nu

築200年と言われる茅葺きの庄屋宅をほぼ昔のままに使った農家レストランで、近郷の旬な野菜や魚介を中心、女将手作りの雅流懐石として提供しています。愚為庵を取り囲む大地(おおち)農園は、音楽プロデューサーだったオーナーが、平成元年にリターンして拓いた農園で、今ではいちごと合鴨農法の無農薬田んぼとして援農体験も受け入れています。就農希望の相談にも乗ってくれますが、食事は完全予約制ですので要注意。

## ⑩ 幸七 (手打そば)



Tel:0470-68-5220  
http://www.ko-7.jp/

この家の主の経歴も稀なり。星の消えない早朝に家をでて、満天の星を仰ぎながらの帰宅。東京までの遠距離通勤16年も含め、経験した職業は10指に余る。そして生來のそば好きがたどり着いたのが手打ちそば。先祖伝来二百有余年の自宅古民家を改築して始めたそば屋は、今では行列の出来る有名店です。店の周りに広がる畠ではソバの栽培も手掛け、収穫時のソバ刈り応援隊(そばかりたい)もすっかりお馴染みとなり、布施で収穫した蕎麦を自家製粉した「布施もり」が味わえる季節を待ちこがれるファンも多い。また、納屋を本格的なギャラリーにリニューアルし、田舎の日常とアートを結びつけて提供している。(例年、蕎麦の花は9月中頃からが見頃です)

## ⑪ 宝蔵山「真常寺」(曹洞宗)



807年真言宗として空海開基と伝えられる。途中火災により記録消失がありますが、16世紀に入って曹洞宗に改宗、現在に至る。本尊は阿弥陀如来立像。境内にある虚空蔵菩薩は関東三大虚空蔵とも言われ、毎年3月13日に催される虫封じは、県内各地からの幼児を連れた参詣客でにぎわい、植木商やテキ屋屋台が軒を連ねたものです。虚空蔵菩薩像は秘仏とされていて直接拝顔出来ませんが、いつかご開帳あるを期待されます。

## ⑫ 青木家 (ギャラリー&食事処)



Tel:0470-68-2457

この地域は新宿(にいじゅく)と言い、旧布施村では新しくできた集落という程度の意味でしょうか。集落の家々の屋号が、麹屋、油屋、畠屋、鍛冶屋、今里屋、提灯屋、床屋など、商いを表すような家々が並んだ中に青木屋があります。この青木屋は代々が旅籠でしたが、先代がなくなって閉じられたままで、100年前の茅葺き住宅を借り受けたオーナーが、ギャラリー&食事処にリニューアルオープンしました。喫茶や石焼きビビンバ等韓流家庭料理を中心とした食事処ですが、普段使いや、いやし系器の展示販売と、地域の作家の作品展示も引き受けています。(定休日は月・火)

## ⑬ 七本神社



天津神五柱と国津神七柱の計十二天神と呼ばれていたが、明治5年に七本神社と改称し地区的産土神となった。うっそうとした森はないが、鳥居の脇にあるマキの大木や、太いスダジイの洞から生えた椎の若木を見ると、やはり長い時間の流れを感じる。拝殿は江戸中期で、向拝(拝殿前部)は明治初期の再建ではないかと推定され、向拝の彫り物は十代唐四郎(江戸末期から明治の名工)作で、拝殿前部梁の浮き彫りは波の伊八の兄弟子嶋村清兵衛ではないかと推定される。

## ⑭ 山神社



大山祇命(おほやまづみのみこと)を祭った山神社は1170年の創建とされている。境内に続く階段を上ると、左手にそびえる杉の大木にも圧倒されるが、社殿左手奥の一柱下がったところにそびえる椎(スダジイ)の大木は、樹齢不明ながら神社の歴史をしのばせる偉容を保っています。

## ⑮ 八幡神社



真常寺境内に同居する様に建つ神社は、かつての神仏混淆の名残か。別のところにあった社をこの地に移し、その社を覆うために茅葺きの建物をかぶせた鞘堂で、その茅葺きの屋根今の様式に改築している。内部には、奉納された江戸から明治に掛けての絵馬が多く掲げられ、町の貴重な指定文化財として登録されている。その多くは格子戸吳しに見ることが出来る。祭神は誉田別命(ほんだわけのみこと)で應神天皇だそうです。